

学校だより青南

12月号

令和4年11月30日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



夢をつかむ

校長 野口 直樹

サッカーワールドカップでの日本代表の活躍が連日報道されています。開催地のカタールは、四半世紀前に日本の初出場の夢が潰えた地として記憶されていました。その時に、グラウンドに代表選手として立っていた森保 一さんが監督というのも運命の不思議を感じさせます。ともあれ今回の対ドイツ勝利で、ドーハの悲劇からドーハの歓喜へと記憶が更新されました。

日本代表選手の中で、このドイツ戦で逆転ゴールを入れた浅野 琢磨選手は試合後のインタビューで、約4年半前にW杯メンバーに入れなかったこと。その瞬間から今日のことを想像して今日の日のために全力で準備してきたこと。それが、たまたま結果につながったこと。そして、「結果につながってなかったとしてもやってきたことは変わらない。」と言っていました。

自分が何かを得るために、自分自身がすべきことを考え、それを続けることは大切なことだと分かっているにもかかわらず、実際にやることは大変なことです。浅野選手にしても、このワールドカップ出場にたどり着くまで、たくさんの困難がありました。イギリスの大きなクラブに移籍したが、労働許可がおりずに、そこでは試合に出ることができませんでした。そのため移籍したドイツのクラブでは、チームの事情で契約を延長してもらえませんでした。次の移籍先では、リーグ2位のゴール数を記録するなど活躍をしましたが、負傷に悩まされたり、給与のトラブルがあつたりして退団することになったりしました。その後、今所属しているドイツのチームでも怪我をしてワールドカップに出場できるのか分からない状況がありました。このような事にも、負けることなく自身が定めた目標を達成するために、自信を信じ、たゆまず努力することができた浅野選手の心の強さに感銘を覚えます。

ワールドカップやオリンピック。大きなスポーツイベントの際には、そこで力を発揮した選手が大きく報道され皆の知るところとなります。そのたびに感じることはありませんが、結果を出した選手も、出せなかった選手も自身の大望に向かい努力を続けていたことです。私は、努力を続けていくためのエネルギーは、何なのだろうと考えました。きっとそれは、子どもの頃に描いた夢であるように思います。子どもの頃に描いた夢をもち続けた。そして、夢に向かうひたむきな姿が、周囲の人たちの心を動かし夢をつかむ道へとつながっているように思えるのです。本校の児童も、展覧会の作品にあつたようにそれぞれが、自信の夢をもちその実現に向け努力できるよう励まし、寄り添っていきたいと考えています。

また、今回のワールドカップでも、日本人サポーターのスタンド清掃や日本チームが試合後ロッカールームをきれいにしている事も報道されました。このような日本人らしさについても、このような機会に子どもたちと共に確認し、日々の学校生活に生かせるようにしていきたいと考えております。

最後になりましたが、展覧会に地域・保護者の皆様に多数、足をお運びいただき、子どもたち・本校教職員に励ましのお言葉をいただきありがとうございました。

12月の生活目標
【学校をきれいにしよう】

生活指導部

肌寒い日が多く、青南の木々たちもすっかり葉を落としています。本来ならばそこら中、枯葉だらけになるところですが、そうなることはありません。本校の主事さん方が、毎朝必ず掃除をしてくださっているからです。先月、青南小学校は116歳の誕生日を迎えました。目前に迫る年末を意識して、普段使っている教室を始めとした学校施設をきれいにしていくのはもちろんのことですが、「今の青南小学校校舎が、これからもきれいでいられるように」という気持ちも大切にしてほしいものです。毎朝の掃除は難しいかもしれませんが、日々の生活の中で、後片付け・掃除をしっかり行ったり、大切に使う気持ちを忘れずにいたりすることが、校舎をきれいに保つことにつながっていきます。ものを大切にする気持ちや感謝の気持ちを忘れずにいられるよう、指導していきます。

【展覧会報告】

展覧会担当

先日の展覧会では、沢山の方々にご参観いただき誠にありがとうございました。制作したものを見ていただける機会があるのは、子どもたちにとっても大変意義があることだと改めて実感しました。友達の作品から刺激を受けるとともにアートを肌で感じてくれたようです。コロナ禍ではありますが、久しぶりに体育館での展示を体験してもらうことができ良かったと思いました。一般鑑賞の時間には、子どもたちと保護者の皆様とのやり取りに胸が熱くなりました。自分の作品やお友達の作品を解説する姿はさながら小さな学芸員のように、自分のお勧めの展示を紹介しながら鑑賞している姿も見素敵でした。保護者の皆様には、「すごいねー」「おもしろいねー」と肯定的な声掛けを沢山子どもたちにさせていただき感謝の思いでいっぱいです。これからも、創作の気持ちを大切に、指導していきます。

【 1年 】

11月初旬、近隣のお花屋さん、生活科の学習としてお花の苗を購入しに行きました。保護者の方にお小遣いを持たせていただき、自分で買いに行きます。交通安全に気を付けながらお花屋さんへ向かいました。お店では、用意していただいたお花の苗の中から、自分が買いたいものを選び、店員さんまでもっていきます。「これください」「レシートもください」「ありがとうございました」・・・黙って店員さんにお花を渡しても買うことはできるかもしれませんが、子どもたちはきちんと



挨拶していました。地域の方との交流の意味も含め、自分たちの力で達成する、人と関わるということができました。今、購入した花はそれぞれの子どもの鉢植えに植えられ、大切に育てられています。

【 4年 】

2学期に入り、総合的な学習の時間において、安全マップ作りの学習が本格化し、自分の通学路の危険な場所について意欲的に調べていきました。どのような場所に危険が潜んでいるのか詳しく予想を立てて、実際に通学路を歩いて調査する場面では、自分の予想を一つ一つ丁寧に確かめながら歩く姿が見受けられました。いつも何気なく登下校している通学路について、このような視点に立って歩いてみると新たな発見がたくさんあることに子どもたちは驚いていました。

その後、調べてきたことを学校公開日に保護者の皆様に発信するために、グループごとに協力をして様々な工夫を凝らして準備を進めました。学習用端末を効果的に活用し、臨場感あふれる発表をすることができました。今回の学習を通して、子どもたちは自分たちの身の回りには危険がたくさん潜んでいることに気付くと同時に、安全に生活をするための工夫もたくさんあることに気付きました。ここでの学びをこれからの生活に生かして行ってほしいと思います。

【 保健 】

養護教諭

12月の保健目標は「かぜの予防に努めよう」です。寒くなると流行が気になるのはインフルエンザですね。コロナ禍では常に感染症に気を付けた生活をしていることもあってか、以前よりもインフルエンザによる学級閉鎖が減りました。今年はずでに東京都の小学校でもインフルエンザによる学級閉鎖が出ています。屋外でマスクが外せるようになり、外出の制限もなくなりつつある今こそ基本に戻り、感染症予防に努めたいものです。また、冬場は感染性胃腸炎の流行も懸念されます。引き続き、おう吐や下痢などの症状がある場合には無理に登校せず、ご家庭で様子を見ていただきますようお願いいたします。感染症でお休みし登校する際には「学校感染症登校連絡票」の提出をお願いしています。HPからダウンロードできますのでご確認ください。

【保健委員会】

保健委員会では、毎日給食前に「あわあわてあらいのうた」を放送して手洗いの推奨をしています。その他にも、水道に設置している手洗いポンプの中身を補充したり、保健室を利用した子のお手伝いをしたりします。当番の日以外にも「何か手伝うことはありますか。」と声をかけに来てくれる児童もおり、とても温かい気持ちになります。今回の開校記念集会では、3つのグループに分かれてクイズ型の動画を作成し、2日間放送しました。どのグループも5年生と6年生が声を掛け合い、協力して作成することができました。今後の活動では、手洗いと共に毎日清潔なハンカチを持ち歩き、手を拭くことを意識してもらえるような内容のポスターを作成し校内に掲示します。掲示ができましたら、ほけんだより等でお知らせしたいと思っておりますので、楽しみにしていただければ幸いです。

【ダンスクラブ】

青南小に、ダンスクラブが戻ってきました!!グループに分かれて、ダンスを決め、練習に励みます。便利になったなあ、時代が変わったなあ、としみじみ。iPadを使い、動画を検索して、スクリーンに投影、まるでアイドルと一緒に踊っているかのようです。「中間発表」も行います。お互いのダンスをみて、称賛し合い刺激し合い、再び練習に取り組みます。発表会や3年生のクラブ見学での披露、動画の撮影など、スケジュールもなかなかタイトです。

学校のクラブ活動です。上手に踊ることも大切ですが、「異学年交流」が肝要です。クラブ長が活動の指揮をとります。副クラブ長や書記がそれを支えます。6年生のクラブ長が、実に細やかに声をかけ、優しく下級生に接し、クラブ全体をあたたく楽しい雰囲気へと導いてくれます。きっと、今までの学校生活で培った力を、次の世代へとつないでいってくれることでしょう。

今日も2階のフロアに、軽快なリズムが流れます。

【手芸クラブ】

手芸クラブのメンバーは13名です。少人数の小さなクラブですが、2名の6年生がリーダーシップを発揮し、みんなで毎回、ワイワイと楽しく活動しています。

4月には年間の計画を立てました。まず、7月までは共通課題である「ランチョンマット」「ハンカチ」作りに取り組みました。5年生にとっては、新しい裁縫箱を使い、「家庭科」の学習を早めにスタートさせたような活動であり、4年生にとっては、全く新しい制作活動の体験となっています。針やはさみ、アイロンなどの道具は、使い方を間違えると大変危険です。約束ごとを確認し合い、慎重に取り組んでいます。分からないこと、困ったことは、みんなで相談し、助け合っています。

夏休みが過ぎ、いよいよ自由課題に取り組んでいます。作りたい作品をピックアップして、今は「ポーチ」「人形」「ポシェット」作りを進めています。作り方は、タブレットで検索し、たくさんの情報から、自分たちに合った方法を選んでいきます。さあ、どんな作品ができあがってくるのでしょうか？